

西大和学園
“中の人”が教える
25の「実はい！」
No.2

全て同じ長方形？



生活の中に当たり前が存在していたものが

どれだけ苦労して生み出されているか知った

廣岡 蒼大さん(中2)

最も印象に残っているのは、牛や搾乳を間近で見られたことです。牛にはめっちゃくちゃ威嚇されましたが、それも良い思い出です(笑)。農業、水産業、畜産業、林業……今まで何気なく食べたり、生活の中で身近に触れてきたりしたものが、どれだけの苦労の先に生み出されているのかわかりました。たくさんの人のおかげで、僕たちの生活が成り立っていることを忘れずにいたいです！

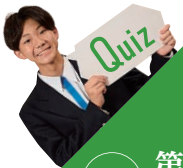
ここだけの話

新しい家族ができたような、温かい心の繋がりも宝物

第1次産業体験で得られるのは、農作業の経験や自然の中での暮らしだけではありません。農家さんとの触れ合いを通して、人と人との繋がりを感じることができます。まるで、もう1つの家族ができたような気持ちです。体験終了後も、手紙のやり取りなどの交流を続ける生徒も少なくありません。



※掲載内容は取材当時のものです。



【プレゼントあり】三択クイズに挑戦！

この冊子を読んで、以下の三択クイズに答えてみよう！ 正解者には特製西大和学園グッズをプレゼント！

第1次産業体験のプログラムで経験できることは？

- 狩猟 農家で为民泊 農業アルバイト

問題

応募方法

No.1～25までシリーズすべてのクイズに答え、選んだ答え(選択肢)の文字を順番に並べると、「ある言葉」になります。その言葉とは何でしょう!? 応募フォームより必要事項を入力し送信ください。

応募フォームはこちらから



今日は、鉛筆を置こう

問題集も閉じよう

鍬をその手に持ち換えて





第1次産業体験

民泊で、暮らしを支える「農」の生活を体験！

私たちが普段何気なく食べている農作物。スーパーで買うことがほとんどでしょう。しかし、それを誰が、どこで、どんな思いで作ってくれているのか、考えたことはありますか!? 「第1次産業体験」は、それに気付かせてくれる旅。農家さんのお宅に民泊(ホームステイ)し、暮らしを体験してみましょう。農作業の実体験はもちろんのこと、田舎ならではの人の温かさや、文化的な暮らしを学んでください。農業をはじめとする第1次産業は、私たちの生活を支える土台です。きっと、食べ物のありがたみを感じることができますよ!

廣岡 蒼太さん(中2)




えっ、薪でお風呂を沸かす!?
五右衛門風呂に入れることも!



体験スケジュール例

1日目

- 08:55 各教室に集合
学年の取り組みを行う
- 14:00 出発
- 16:00  入村式 式後、各ホストファミリー宅へ移動

2日目

- 終日  各ホストファミリーと過ごす

3日目

- 14:00  離村式
- 17:00 学校到着・解散
おつかれさまでした!

体験プログラム例

田んぼ作業



草刈、稲刈り、あぜ道整備 等



畑作業

植えつけ、収穫、草刈、剪定、出荷、農機具の手入れ 等

その他の例

- 里山整備
竹林の整備、枝打ち、苗の育成、獣害防止ネットの設置 等
- 食事づくり
収穫した野菜の調理、お菓子づくり 等



ものづくり

竹細工、わら細工、陶器づくり 等



自然の中には虫もいっぱい!
苦手なんて言っちゃられない!



またも「土」に触るのさえ
初めてだという生徒も!

